

## 2. 新品目導入！ ー冬野菜が高収益化ー

渡島農業改良普及センター 地域第一係

### 1 活動の背景

北斗市の施設栽培における主要野菜の作付体系は表1の通りであり、経営的課題として施設野菜の所得向上が課題となっています。

表1 主要野菜の作付体系例

	春	夏	秋	冬
上磯	トマト300	きゅうり150		ー
大野①	はくさい90	トマト300		ほうれん60
大野②	ねぎ160	休憩	ほうれん60	ー
大野③	ねぎ160	トマト300		ー
大野④	トマト300	ほうれん60	ほうれん60	
提案	トマト300	リーフレタス120		ー

※数値は、10a当たり販売額(万円)

道南農試より「冬どりリーフレタス栽培」の試験成績がまとまり、北斗市の特色を活かした農業経営に適合していました。

### 2 活動の方針

現状の作付体系で晩秋どりリーフレタスが導入可能な作型は大野②・④で、秋冬ほうれんそうを品目転換することで所得向上が見込めます。

そこで、ハウス無加温栽培で販売額100万円を目指し本技術を提案しました。併せて、活動は面的側面を強化するため、部会（組織）を対象としました。

### 3 活動経過

まずは、地域のリーダー的存在であるレタス部会長（野菜副組合長兼務）と協議を重ね、部会勉強会で栽培概要を示し、個別に経営導入パターンを提案した結果、部会活動として取り組むことで合意しました。

この事で、JAは積極的に活動でき、販売環境（出荷FG・ダンボール、出荷規格・等級、市場協議・契約単価など）が整いました。

栽培面では、試験研究より技術伝達を得、既存の有孔マルチ（結球レタスの特注品）を利用するなど、導入しやすいように提案しました。生産・販売環境が整ったので、部会員や重点地区に提案し、若手農業者を中心に賛同が得られました。

### 4 活動結果

初年度、北斗市レタス部会の6名が本技術を導入し、道南特有の温暖な気象条件を活かした冬野菜の高収益化を実践できました。

作付体系について、6名のうち5名は早期定植型の夏秋トマト、1名はハウスねぎの後作として導入し、地域の先駆的モデルとなりました。

販売面では、平均収量10,000株/10a・平均単価120円/株で、全員が所得向上に結びつきました。

農家の声より、「思っていたより簡単にできた」など、実戦可能な技術であることが示されました。

試験研究と連携を図り、現地研修や座学研修を通じ農業者に情報共有の場を提供しながら、研究成果の現地経済実証を進めることができました。

普及センター内で情報が共有できるよう、画像と具体的数値を中心にマニュアルを作成しました。地域の振興方針（施設園芸の高収化や新規作物の導入）を踏まえ、農業者の立場に立ち（地域課題、農業背景）、普及活動を効率的に展開できました。

軽量野菜導入による高齢化対策モデルの一つを実証でき、YES! clean栽培も実践可能であることが確認できました。

### 5 結果の考察

導入がスムーズに行われたのは、組織活動を重視したことが有効であったと思われます。

地域の現状（課題）を踏まえ、大規模な投資や作付構成を変化させることなく本技術を提案できたことが、高収益化（販売額：畝1ツツ60万円→リーフレタス120万円/10a）に結びついたと考えられます。

研究・農協・普及などの関係機関が連携できたことが、安定的な生産・販売に繋がり、施設経営の更なる所得向上が実現したと推察されます。

### 6 今後の対応

北斗市全体への波及。

端境期における契約販売の適正割合。

農作業が集中する9月の労働競合回避。

作付面積急増時の、組織内作付分散。

## 導入の背景

- 道南農試で冬野菜の成績がまとまる。
- ハウスねぎ+冬ほうれんそうの所得低下。
- 早期定植夏秋トマト後、更なる所得確保。
- 大野地区は、レタス作付経験者が多い。



## 定植



作業時間  
12h/80坪

## 導入のねらい

- 晩秋期の所得向上（作付品目の変更）
- 10a当たりの販売額  
ほうれんそう60万円（こまつな50万円）  
→ リーフレタス120万円（2倍）



## 定植20日後



生育中の管理は  
換気とかん水

## 耕種概要

は種	定植	収穫
9/上~中	9/下~10/上	11~12月
育苗様式	育苗日数	栽植本数
200穴セル	25日	12,800株/10a
施肥 (10a)	栽植密度 (マルチ)	
16・14・16kg	27×26cm : 9列×2ハット (濃緑)	

## 収穫

作業時間  
80h/80坪



## 育苗方法

### ①自家育苗



### ②苗購入(ホクレン)



- 出荷規格  
200穴セル(14円/株)
- 必要本数  
12,800本/10a

## 販売額 (10a当たり)

	収量 (株)	単価 (円/株)	販売額 (円)
H29実績	10,000	260	2,600,000
H30計画	10,000	120	1,200,000

- H29は高値。基準はH30を目安とする。
- 端境期なので、高値安定が見込める。
- 農家の声より、「作りやすかった」